

工場長メッセージ

当社グループが持続的な成長を実現していくためには、社員一人ひとりが安全かつ健康に働ける職場環境が不可欠です。安全は、社員の生命と健康を守るだけでなく、安定操業や品質の維持・向上を支える重要な基盤でもあります。

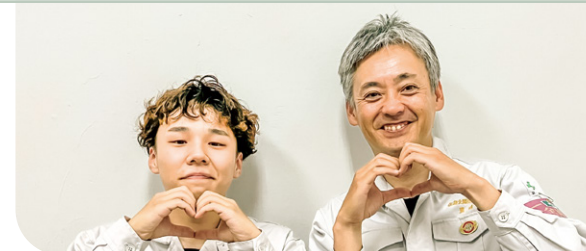
安全な職場を実現するためには、ルールや設備の整備に加え、現場で働く一人ひとりが安全を自分ごととして捉え、日々の業務の中で実践することが欠かせません。

本企画では、セメント工場における安全に対する考え方や日頃の取り組みを通じて、現場に根付く安全意識と実践についてご紹介します。

セメント工場地図



栃木工場



栃木工場 工場長

黒崎 亮

生産課製造係

小熊 基央**黒崎**

協力会社を含めた全社員の安全は全てに優先され、安定操業、安定品質を確保する上でのベースとなり、持続的な企業価値向上に不可欠なものと考えています。安全対策の具体的な取り組みとして、日々の安全パトロール、作業開始時の危険予知活動の推進、災害事例研究、安全体感教育の実施および小集団活動による危険要因の除去などがあります。また、毎月安全に関わるテーマを取り上げ、皆で深く掘り下げて考える「安全の時間」を設けることで安全に関する知識の向上を図っています。これらの取り組みを通して全社員が安全に対する高い意識を持ちながら日々働いています。私自身は、安全の基盤として、風通しのよい職場環境づくりや、立場に関係なく声を掛け合いやすい雰囲気づくりを心がけています。安全は一人の努力、意識だけでは守ることができません。工場で働く全社員が互いを思いやる心を持つとともに、一人ひとりが自ら考え行動することで実現すると考えます。これからも安心して働ける工場を目指して全社員一丸と

なって取り組んでいます。

小熊

私は、生産課オペレーター／パトロール業務に携わっています。パトロール業務では、設備点検と保守のため、場内をくまなく巡回していますが、夏季は日中気温が40℃付近まで上昇するなど熱中症リスクが高まります。しかし、WBGT計によるリスクの見える化、空調服などの支給、スポーツドリンクや麦茶、アイススラリーの配布によって、身体負担を軽減し、休憩時でもしっかりと水分補給できる環境になっています。また、芹澤職長お手製の梅干しも人気のアイテムとなり熱中症防止に一役を買っています。



工場長メッセージ

岐阜工場

岐阜工場 工場長
和田 浩治生産課製造係
浅野 晴大

和田

岐阜工場では、安全への取り組みは朝の安全放送から始まります。日替わりで当社および協力会社の社員が、その日工場で働く仲間たちに伝えたい安全に関する一言を場内放送します。岐阜工場の夏は、地域柄とても過酷です。2025年度以降は特に熱中症対策に注力し、繰り返しの周知・声掛けでお互いの安全確保に努めています。朝会や職場会では、KY(危険予知)のショート動画を視聴し、さまざまな災害事例を学んでいます。また、組合員と管理職がペアとなり、日替わりで行う安全パトロールでは、コミュニケーションの活性化と現場各種作業をそれぞれの視点で確認していきます。これは双方にとって新たな気付きにもなり、より高い安全意識への昇華に繋がっています。労働災害は、どんなに教育して予防しても、完璧で完成された形はありません。繰り返し、または新たな取り組み、そして多くの工夫でより安全性の高い職場となっていくものです。みんなで元気で安全な明るい工場を作っていきましょう。ご安全に！

浅野

私は生産課でセメント製造設備の運転監視や現場パトロールを担当しています。設備の異常予兆を早期に発見し、安全かつ安定した操業を維持することが主な役割です。現場では危険予知活動や指差呼称、安全ミーティングを日常的に実施しています。また、「慣れ」や「思い込み」による事故を防ぐため、作業手順の確認やルールへの厳守を徹底し、仲間同士で積極的に声を掛け合いながら安全を最優先に行動しています。



赤穂工場

赤穂工場 工場長
秋枝 憲治生産課製造係
森田 竜成

秋枝

「安全は全てに優先する」の基本方針のもと、赤穂工場では月2回、始業から15分を「安全の時間」と称した活動に充てています。場内で働く全ての従業員・協力会社社員が災害事例や安全ルールを読み合わせ、安全に対する意識を高めることを目的として2022年より取り組んでいます。また、危険予知活動にも力を入れており協力会社KYMへの従業員の帯同、危険予知シートの第三者による潜在リスクの抜け漏れチェックなどを推し進めています。熱中症への対策についてもWBGT計を用いた現場パトロールの実施、外部講師による熱中症予防管理者の育成、アイススラリー等の対策水の配布など積極的に取り組み、2025年度は罹患者ゼロを達成しました。安全が安心を生み、安定操業を生み、会社の発展に寄与することは言うまでもありませんが、安全を担保するための特効薬はないため、地道な活動の積み重ねを大切に今後ともさまざまな安全衛生活動の仕掛けを行い、皆が安心して働ける工場づくりに努めます。

森田

私は現在交替勤務で、工場パトロール業務を担当しています。

安全衛生が徹底された職場では、事故や怪我への不安が少なくなり、安心して作業に集中できます。作業手順やルールが明確で保護具の着用や設備点検が確実に行われることで、安全が守られていると実感できます。また危険箇所の改善や職場内での声掛けが活発な環境は、従業員同士の信頼関係にも繋がります。

安全を最優先に考える職場づくりは、心身の負担を軽減し、働きやすさと安心感を高める大きな要因だと感じます。



工場長メッセージ

高知工場



高知工場 工場長
佐々木 雅彦
工務課電気係
間 拓海

佐々木

工場の操業は、「安全」によって支えられています。品質や生産性を高めることも重要ですが、その全ての前提となるのが「安全」です。私たちが目指す工場は、「安全であることが当たり前」の現場です。無理・無駄・無茶のない作業、ルールが守られる現場づくりにより、従業員一人ひとりが心身ともに余裕を持って仕事に向き合える状態を目指します。決められた手順を守る、確認を怠らない、不安や違和感を感じたらすぐに相談する。これらの基本行動が、「安全」だけでなく「品質」と「安定操業」を守っています。単なるルール遵守ではなく、なぜ危険かを理解し、自ら判断できる人財こそが強い現場をつくれます。継続して「気づく力」「考える力」「止める勇気」を持った人財を育てます。

日々の変化が、安全文化を育てる第一歩であり、確かな前進だと感じています。安全が守られているからこそ、品質が安定し、生産性が向上し、誰もが安心して働きやすい職場が実現します。一人ひとりの安全意識と行動が、この工場の未

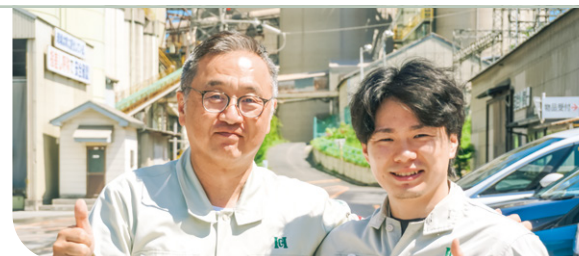
来を支えています。これからも、安全を全ての基盤として、より良い現場を築いていきます。

間

私は現在、モーターの定期的なパトロールや突発的な故障対応、休転期間中の補修作業など、工場全般の電気関係の保守・保全を担当しています。電気関係の作業は安全確認を怠ると感電の恐れがあります。そのため、検電器を使用して無電圧の状態で作業するようにしており、共同作業者がいる場合、作業前に必ず検電器を使用するように声掛けの実施や無線での情報共有によって作業者全員が安全に作業できるよう心がけています。



八戸セメント(株)



八戸セメント(株)
代表取締役社長
細田 啓介
生産部生産課
中島 大河

細田

安全衛生管理については、当社は全社で唯一、安全衛生室を設けており、長年生産現場を経験してきた方々が携わっていることが強みです。また、安全衛生コンサルタントパトロールを「毎月」実施していることが特徴で、当日は安全衛生室、セメント部門長に加え、協力会社安全協議会(構内協力会社トップ)のメンバーが同行し、各社ごとに作業中の現場を直接指導していただきます。普段看過してしまっている点を丁寧に拾い上げてくださり、大変学びの多い機会となっています。当社の従業員の多くが地元の方であるだけに大きな家族のような温かい集団に感じます。労働災害が発生すればその対策をすぐに実施し、教育を含めて夜勤者に速やかに周知する。2025年から増えた早強セメントの場内積込作業では運転手さんからの要請をしっかりと受け止め、姿勢に無理がいかないよう現場を速やかに改善する、等々。家族のような、一人ひとりの顔がしっかりと見えている相互の思いやりは、何ものにも代え

がたい安全衛生活動の原点だと思います。

中島

入社8年目を迎え、主機の定期点検やDCSシーケンスの改造、パトロール業務を担当しています。業務をこなしていく上で、安全に作業ができるよう設備改善・補修に関して迅速に対応していただく場合が多く、現場では安全かつ安心して作業に取り組むことができています。また、作業マニュアルの見直しも急速に進められており、作業内容を理解し、その中に潜む災害要因を考える良い機会・経験となっています。今後も自分の身は自分で守ることを前提に、みんなが無事に帰宅できる職場づくりに努めていきます。



熊対処講習会時のクマスプレー体験中の様子